先行一杯後方儘　vol.3 桜

ippaimama

競馬予想　先行一杯後方儘　vol.3 桜花賞(GⅠ)

＜今週の予想＞
◎17番トレンドハンター
○15番フレンチカクタス
▲16番ホエールキャプチャ
△2番デルマドゥルガー
×1番フォーエバーマーク

　レーヴディソール骨折。競馬ファンなら、第一報を聞いたときはだれしも溜息をついたはず。4戦のキャリア全てで圧倒的なパフォーマンスを見せていた彼女には、それだけの存在感があった。そして言わずもがなだが、彼女の戦線離脱によって桜花賞は一気に混戦模様に突入する。そのうえ、大震災の影響で前哨戦の一部に施行条件の変更が発生。厩舎関係者にとっても、調整が難しいところが多かろう。こうなるとなんとなく波乱の匂いがしてくる今年の桜花賞だが、果たしていったいどのような結末を迎えるのだろう。

　さてさて、前置きはこれくらい。前日発売のオッズを見ながら、ざっくりと出走馬を眺めてみる。押し出される形の一番人気は、クイーンC勝ちから臨むホエールキャプチャ。ジュベナイルFではレーヴディソールに最後の最後で差されものの大きな遅れは取っていないだけに、実績面は確かに一歩抜けている。だが、前走のレース内容はVTRで見ると強さを感じる勝ち方とはいえ、記録上の着差はそれほどない。特に早めの追い出しとはいえ上がり34.7はレース内3位。4角6番手という位置取りを考慮に入れても、3倍台前半を背負うほどの差は実はないのではなかろうか。

　それなら、このレースでホエールキャプチャに敗れた馬はどうか。さすがにラテアート(14着)などまで考えるのも面倒なので、上がり2番手3着のデルマドゥルガーと、前からの競馬で唯一残って4着のフレンチカクタスを見てみる。前者はジュニアCを一頭だけ早い上がりで交わして1着。ただし、このレースの出走馬のその後を見る限り、まああまりレベルが高かったとは言い難いようだ。その前のひいらぎ賞では先に挙げたフレンチカクタスに完敗。ホエールキャプチャと同じくクイーンCからの直行なので、これ以上はなんともいえない。あとはやったとこ勝負なんだけど、内枠から内田博騎手の騎乗が抜群にはまった時に、やっと互角の競馬ができるといったところだろうか。印としては、格下で打たざるをえないのかなぁ。この手の穴馬としては微妙に穴人気(前日発売6番人気)しているのも買いにくさを増している。

　その一方で、フレンチカクタスの方はなかなか見所あり。次走フィリーズレビューでは初めて本格的な差しの競馬になったが、前崩れの展開もあり見事1着。府中で粘る競馬の後に差し込む競馬を見せることができたのは、この時期の若駒としてはポイントが高い。時計の方だって、同日

の準OPが1:21.9であることを考えればこの時期の牝馬で1:22.3は上々な方だといえるだろう。ひいらぎ賞でもなんなく抜け出て快勝しているだけに距離の不安はなく、後はこの枠からどういった競馬をするかが鍵か。 北村宏騎手にそれほど大胆な騎乗を求めるのも酷な話だが(超絶失礼)、前からか後ろからか、組み立てがいのある馬と枠ではあるのよな。期待したい。てなわけで対抗印。

ちなみにクイーンCの上がり1番手で2着のマイネイサベルは、次走フラワーC。4着に破れたもののこちらも前崩れの展開の中でのもの。フローラSに回るようなので、そこそこ人気を負うことになろう。

そして、そのフラワーCを楽勝したトレンドハンター。ダートで勝ち上がった後クラシックに目を向けて芝替わり、とは失敗例が腐るほど見つかるローテーションだが、この馬は珍しく大成功。この時期の阪神1800といえば毎日杯が真っ先にあがるが、今年の勝ち時計はあのレッドデイヴィスの1:47.1。この馬は1:47.0だから、時計面の裏付けは十二分にある。なにより、ローテーションが気が利いているね。こうもあれこれ混乱すると調整も難しいだろうし、休み明けよりは好調のままでポンポンポンっと来た馬を本命に押したくなる。好調の岩田騎手も不安はない。文句なしで本命だ。

さて、さすがに蹴り飛ばす勇気はないのでホエールキャプチャに▲を、デルマドゥルガーはその次で△。最後に大穴として、内枠からのインベタ前残りという線も考えておく。基本的に今年のトライアルは前が潰れるレースが多かったので、本番で一転前残りになる可能性も0ではない。もっとも歴史を紐解くまでもなく、桜花賞の先行勢で残るにはそれなりの地力が必要であるのはもちろんなのだが……一応、1枠1番フォーエバーマークを×ということで推しておく。少しでも厳しい展開になれば一銭もいらないが、クロッカスSをはじめ楽な競馬になるようなら一発を撃てるくらいの力は持っている馬だ。

その他、人気どころを蹴る理由を少し。マルセリーナはシンザン記念は1・2着馬とははっきりとした差がある印象。レッドデイヴィスを評価するならそれこそトレンドハンターの印を重くすべきだし、エルフィンSも相手が相手だけにイマイチ。ダンスファンタジアは前走の負け方が全て。来たら諦める。ライステラスの阪神ジュベナイルFはよーいどんで前のアドバンテージを活かした3着であり、１・２着とは走りの性質がはっきりと違う。チューリップ賞もレーヴディソール以外の相手は微妙でここは軽視したい。

本予想によって生じた損害等には、一切の責任を負いません。

競馬予想　先行一杯後方儘　vol.3 桜花賞(GⅠ)

＜今週のひとこと＞

　久々の更新です。本当は切りよく大阪杯＆日経賞からはじめようかと思ったのですが、途中で予想を消してしまい心折れました、はい。
　まあ地震後色々あった訳ですが、とりあえず日本から競馬は消えておりません。九州とか東海とか高知とか園田とか、まあそれに中央の小倉・阪神も加えて今日も明日も日本のどこかでお馬が走って、外れ馬券が舞い散っておるわけです。競輪・競艇のように完全自粛という道もまたひとつのあり方でしょうし、もしかしたらこの緊急事態に博打を開帳していることへの批判もあるのかもしれません。それでも、私としては各主催者及びJRAの判断は正しかったと信じています。なんてったって、安心感が違いますって。競馬もできなくなったらそれこそ、WWⅡ末期並みの亡国的危機でっせそりゃ。

　まあ、来週からついにお待ちかねの南関東競馬が再開。関東の公営競技も、ぼちぼち運転を再開していくことでしょう。ナイター開催も含めた平常運転復帰まではまだ時間がかかるかもしれませんが(南関では、輸送のガソリン消費を抑えるために当面地元馬のみの番組だそうです)、それでも少しずつ日常って奴が戻ってくることを願いたい、小市民のわたしであります。まあ馬も選手も、休み明けは買いにくいと相場が決まってるのが困るんですがね。

本予想によって生じた損害等には、一切の責任を負いません。